

矯正施設の保安警備・医療体制の強化

東京拘置所主幹システムの更新

経年劣化により障害が発生し、施設運営に支障を来たすおそれがある機器について、緊急に更新・整備する。

① 総合監視システム



・被収容者の居室監視カメラ、廊下、外構等監視カメラを制御し、運用するためのシステム

② 被収容者行先表示システム



・被収容者の居所(居室、入浴、運動、面会等)を把握し、各種事務を効率化するとともに、立体的な高層施設における被収容者の動きを把握するためのシステム

③ 領置物品自動搬送システム



・被収容者に対する領置物品の保管、交付、引渡し等の領置業務を管理し、運用するためのシステム

④ 無停電電源装置(UPS)



・施設が停電になった場合でも、システムの強制シャットダウンを阻止するため、電気を供給する装置

- 保守管理業者から今後の保守の継続が難しい旨の報告を受けている。
- 各システムは、整備後9年目を迎え、既に交換部品が欠品となっている。

- サーバに損害が発生。
- 停電が発生した場合、UPSの劣化により、電気の供給ができない。

システムに異常を来たした場合、施設運営に重大な支障発生

護送用自動車の更新整備

走行距離が10万キロメートルを超えた

特に老朽化・損耗が著しい護送用自動車36台を更新整備する。



護送用自動車の主な用務

- 刑確定による拘置所から刑務所への移送
- 取調べ・裁判等の被告人の出廷
- 保安移送 ○ 病院移送
- 総合職業訓練実施施設等への移送 等

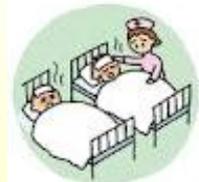
- 高速道路走行中にエンジン冷却用ファンが破損
- マフラーに穴が開き異常音が発生
- 高速走行でノッキングが発生
- エンストが頻発に発生
- 手動ドアの開閉不良
- 自動ドアの動作に不具合

事故発生のおそれがあるだけでなく、関係機関の円滑な業務運営に支障が生じる

酷使により様々な不具合が発生

病室エアコンの整備

熱中症対策・疾病治療のため、室温調整可能な病室の整備が喫緊の課題



- 熱中症になる被収容者等が増加
- 生活習慣病等のリスクの高い中高齢受刑者(40歳以上)が増加
- 受刑者における内科系疾患(悪性腫瘍等)によって休養する割合が増加

矯正施設において、医療法上の病院又は診療所に指定されている入院施設(病棟)の病室に室温管理するためのエアコンを整備

総合警備システム 女区入室管理システム 通行鍵管理システム

上記警備機器を矯正施設に整備することにより、保安警備体制の強化、不適正処遇の防止及び鍵管理の適正化・効率化を図る。